

1. 人生の設計図

もし僕が医者や脳科学者になっていたら
僕の世界に生きる人達はどう笑うの
あなたの言う
正しい生き方とは。

恐らくなんて言葉は使いたくは
無いけど
恐らくまた同じ考え方を繰り返す

知らない方が良い事もあるって
何かで読んだんだ

優等生が並んで
買った人生の設計図より
精一杯の僕なりの答えを
答えを

臆病者の涙は
流れ落ちてゆくイメージが
何より大切な事と知っていた
知っていた

失う物は何一つ無いって信じて
得る物だけが正しい事だと生きてきた
無くした物は
どうせ戻ってくるって
いつもそう思ってた

降り止まない降り止まない
昨日の雨がまだ
色褪せる色褪せる
泥水が胸に
こびりつくこびりつく
汚し方を覚えた

子供の頃と変わらない
癖や流す涙の理由が

知らない間に誰かを傷付けると
怯えていたんだな

優等生は誰だい
人生の教科書が欲しい
そう望まなくて良いなら
新しく作ってしまえ

手を上げる怖さなど
知らなくて良いと
全能な偽善者が
言える事なんだ
自らに牙を向け
全てを打ち破れ

降り止まない降り止まない
昨日の雨がまだ
止まらない 止まらない
明日への足音
つまらない つまらない
話を少ししよう

2. ゼロ

戦力を持たない言葉が今、
あなたを探ろうとしてる
点と線で結んで行くみたいに
心を編み込んでゆけたら

ゼロから始めた
心の刺繍に
足りないのは自分の
弱さを知る事

世界は思うほど
僕らを知らないんだ
この空を覆う
景色を変えて行けたら

『分からぬ』以外を
言える様になった
その矢先に見えて来た物
正解に反論する人の根拠の無さに
血が詰まってく

死後の世界を否定した
高名な物理学者も
ほら言うよ
君はどう生きる

天才が産んだ才能に
集ったカラス達が
支配した街の空は晴れていた

許す事じゃなくて
認める上の愛を選ぶ
僕らの目に映る光を信じて

目を瞑りながら生きる世界で
死んだ細胞が閉じてく
視界を開こう

今日が終わらぬ様に
明日を知らないふりした
君にプライドがあるなら
認めて自分の弱さを

世界を否定した
一歩が踏み出せたよ
踏み台は自分自身だって気付いた

行くよ 思い出して
あなたを あなたの事を
行くよ 隠れて
しまわぬうちに

世界を…